

News Letter

発行日：2020年12月4日

発行元：福井県済生会済生会病院 メディカルカフェ



福井県済生会病院メディカルカフェ10周年記念ニュースレター、これまでは『メディカルカフェの10年を振り返る』内容を特集してまいりました。そこで、最終号となる今回は『メディカルカフェのこれから』について、現在メディカルカフェにかかわる方々からメッセージを寄せていただきました！

メディカルカフェのあゆみ ～Part5～

－ これからのあゆみ －



福井県済生会病院 副院長
集学的がん診療センター長
宗本義則

病院内で開催するカフェに関しては、堅苦しいというマイナス面はあるかもしれませんが、福井県済生会病院のメディカルカフェには、病院という特性を活かした「一声かければ、医師、看護師はもちろん、薬剤師、栄養士、臨床心理士、ソーシャルワーカー、音楽療法士などいろいろな職種がすぐに対応できる」というプラス面があります。

現在、福井県内でのメディカルカフェは福井県済生会病院の1カ所だけですが、今後は病院外でも身近なところにカフェがあり、その時に気分によって参加できるのが望ましいと思います。「今日は気分がいいので教会のカフェに参加するわ」「天気がいいので遠方のカフェに足をのばすわ」など、その時の気分、天候、状況によっていろいろ選択できるようになればいいと考えています。

そして、カフェごとの特色、長所が皆に見え、カフェごとの交流、情報交換等あれば素晴らしい地域になると思います。



緩和ケア科主任部長
土田敬

“For the rest of us.” これはみなさんがいま使っているスマホを発明した会社が、新型パソコンを発売したときのキャッチコピーです。「専門家じゃない人たちのためのコンピューターだよ」と言っています。

メディカルカフェはこれまで、診察室で聞けないことを聞ける「病気の初心者」のための場所としていろいろな支援をしてきました。そして病気と戦ったり共存したりしているみなさんのくつろぎの場としてボランティアさんにもご活躍いただいています。これからはオンラインカフェもあるかもしれませんが、新型コロナ時代で再確認した実際会える温かみも大切にしていきたいと思っています。

“The place for the rest of us.” それがこれまでも、そしてこれからもわたしたちのメディカルカフェです。



がん患者
ピアサポートふくい

私もそうであったように、がんと宣告された心境はご本人とご家族以外には、なかなか理解されません。そんな時に支えてくれたのは、メディカルカフェのスタッフさんや、ピアサポーターの方々でした。ピアサポーターとは、同じ病気を体験した仲間として寄り添いサポートする人を言います。こんな活動があることを知り、勉強会やがん哲学外来コーディネーター養成講座に参加し、今は毎月ピアサポーターとしてお手伝いさせていただいています。

メディカルカフェへは、なかなか初めは参加しにくいかもしれませんが、気軽に参加してほしいです。話をするだけで楽になることもありますよ！病気になり命をみつめた私たち。病気になってもまだまだ出来る事があること、今を大切に生きる、自分らしく生きることを伝え、参加してよかった！と笑顔になれるような癒しの場になってほしいです。お茶を飲みながら、つるつるいっぱいお話ししましょう♪

スタッフより

メディカルカフェ10周年を迎えることができ、作り上げてきてくださったすべての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。今後さらに長く続いていくために、何ができるかを考えた時、がんの患者さんやご家族、またその仲間達が今何を求めているかを常に考えつつ、自分の得意分野である外見のケアを通じて、参加してくれた人が笑顔になれるよう努力する事かなと思います。

がん専門相談員 細川清子

10年間、メディカルカフェでの出会いや対話を通して、変わりゆくことと変わらないこと、そのどちらも大切ということを学ばせていただいた気がします。今後も、みなさんが「ほっ」とできたり、何かに気づけたりという経験ができるよう、黒子のような存在でお手伝いできればと思います。

音楽療法士 柴田麻美

私は、メディカルカフェで患者さんの栄養面でのサポートをさせていただいております。食事は、単に栄養補給のためだけの手段ではなく、家族や友人との絆や心の問題にも密接に関係します。治療等の影響で食べられないと悩む患者さんが、一口でも多く、少しでもおいしく食べられるような工夫を、これからもミニ講義や個別栄養相談を通して紹介していきたいです。

管理栄養士 沖村喜美恵

～メディカルカフェのご案内～

日時； 毎月第1金曜日
[午前]10:00～12:00 ※12:00～13:00 休憩
[午後]13:00～15:00 ※13:00～ ミニ講義
場所； 福井県済生会病院 南館1階
メディカル情報サロン



参加
無料

カフェ参加初日、医療者の立場なのに緊張でガチガチな私に「櫻井さんらしくて大丈夫だよ」と声をかけて下さった、がん患者ピアサポートふくい代表だった伊藤重一さん。私の心はふわっと溶けていきました。

伊藤さんの優しさやカフェへの思いを私なりに引き継いで、一人でも多くの方にメディカルカフェに参加してよかったと言われる場を作っていきたいです。

集学的がん診療センター 櫻井美穂

メディカルカフェにはたくさんの仲間がいます。私は専門職としていろいろな不安や悩みを制度等の紹介を通して軽減するお手伝いをしていますが、経験者からの話が問題解決への糸口になる場合もたくさんあります。おしゃべりを通し、治療のことだけでなくいろいろな情報が得られるそんな場所づくりをしていきたいと思っています。

医療ソーシャルワーカー 笠嶋沙代

—編集後記—

メディカルカフェ10周年記念ニュースレターを作成する中で、たくさんの方の支えがあってカフェが継続できていることを改めて実感すると同時に、今後メディカルカフェがどのように進化していくのが楽しみにになりました。これからのメディカルカフェもどうぞよろしくお願いたします。

臨床心理士 車屋知美

2021年のミニ講義

- 1月8日(金)
「がん治療中の患者さんの外見の変化のカバー
(脱毛、メイク、爪のケアなど)」
- 2月5日(金)
「自身の大切な人ってなあ～に？
大切な人に感謝を伝えてみませんか」
- 3月5日(金)
「心と身体に優しい ヨーガセラピー」

—メディカルカフェ、がん哲学外来のお問い合わせ先—
がん相談支援センター(集学的がん診療センター)
Tel (0776) 28-1212<直通>